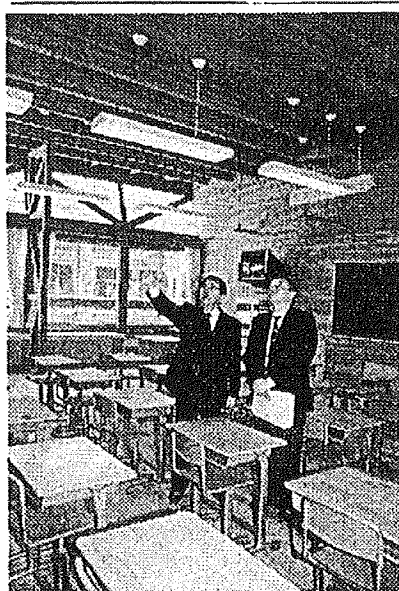


素足でも歩けます

木の温もりがある校舎に

福岡県前原市



梁が見える教室の天井を視察する笹栗議員

福岡県前原市に、木な小学校が今月開校し、の温もりのあるユニーク児童に喜ばれている。同

市が大規模校の解消を目指して分離新設した「東風小学校」で、市議会公明党も開設に尽力してきた。このほど、笹栗純夫議員が学校を視察した。

施設は、教室棟、特別教室棟、管理棟、屋内運動場、プールなど。教室棟は中でも、低学年、中学年、高学年の3棟からなり、各棟(木造平屋建て)とも芝生の庭を囲む形で教室や多目的ホールが配置されている。敷地面積は約3万3000平方メートル。

校舎は、木材をふんだんに使っているのが特徴。教室の天井は梁が見え、教室や図書館の床、廊下などには木材が張られ、「素足でも気持ちよく歩ける」(坂巻善直・市学校教育課長)。また、笹栗議員の提案もあり、トイレも洋式化されている。